



## 舌下免疫療法の流れについて

### 患者：一般外来を受診

問診、視診、検査(採血/皮膚テスト)等の結果から、医師から舌下免疫療法の適応ありと診断される必要があります

### 当院スタッフ：開始薬の在庫※を確認

※シダキュアは2026年4月現在出荷調整中であり、しばらくの間シダキュアの新規予約を制限/休止させて頂くことがあります

### 患者：治療開始時期/来院日時の確認

- ・シダキュアは6～12月中旬の間しか開始できません
- ・治療開始1週間後には必ず受診する必要があります
- ・開始日(初回)は確認や説明に1時間以上かかるため、予約で行います(平日10時/16時)。2回目以降は通常受診(事前予約不可)です

### 患者：初回治療

診察後1週間分の治療薬(開始薬)を処方されるので、薬局で治療薬をもらい次第、当院へ再来院します。

解説動画の視聴を行ったら看護師から説明を受けます。その後、実際に1日目の治療薬を内服し30分間院内で副反応の有無を確認します(血圧測定など)。最後に医師の診察を受けて問題が無ければ終了です

### 患者：2回目以降

2回目以降は初回よりアレルギー量の多い維持薬を処方されるので、毎日決められた時間に内服します。

医師の指示があった場合を除き、1か月に1回のペースで受診します。

# 舌下免疫療法における留意点について

## ・定期的な受診が必要です

医師の指示がある時を除き、原則1か月に1回患者本人が受診する必要があります

安定して服用が継続できていないと医師が判断した場合、安全性の観点から舌下免疫療法を中止させていただきます

(例:処方日数と受診間隔が著しく異なる場合)

## ・以下の方は舌下免疫療法を受けることができません

- ・5歳未満(安全性が確立されていない)
- ・重症の気管支喘息がある
- ・舌下(皮下)免疫療法でショックを起こしたことがある
- ・薬剤を舌下に保持することができない
- ・妊婦/授乳婦の新規導入 (治療開始後の継続は問題ありません)

## ・以下の方は舌下免疫療法を行う際に注意が必要です

- ・高齢者 (65歳以上の方は治療効果が弱まる可能性があります)
- ・(重症以外の)気管支喘息/重症の心疾患、肺疾患、高血圧を有する方
- ・悪性腫瘍、又は免疫に影響を及ぼす全身性疾患を有する方
- ・口腔内に傷や炎症がある方
- ・βブロッカー/MAO阻害薬/全身性ステロイド薬(内服・注射など)を使用中的の方

## ・採血等で病因アレルゲン(スギ、ダニ)の確定診断が必要です

当院では採血によるアレルギー検査を行っております。まだ検査を受けたことが無い方は診察時ご相談ください。ただし当院では精度の高い通常の採血によるアレルギー検査を行っているため、**動かずに採血ができる方に限らせて頂いております**

## ・長期間(概ね3年以上)服用を継続することが大切です

服用を忘れがちの方は効果が出づらだけでなく、長期間の休薬後に急に維持量で再開すると副作用が生じやすくなるリスクがあるため、医師から治療の中止を提案させて頂くことがあります

## ・適切に服用し、服用前後の留意点を守る必要があります

- ・舌下に1分間保持して飲み込みます
- ・服用後5分間はうがいや飲食を控えます
- ・服用前後2時間は入浴、アルコール、激しい運動を避けます

## ・有効率は約80%と言われています

長期間治療を行っても効果がない可能性があります

## ・スギ花粉飛散期にシダキュアを開始することはできません

スギ花粉飛散期は患者の過敏性が亢進し、副作用が生じやすいとされています。このため**当院のシダキュア開始時期は6月から12月中旬まで**とさせていただきます

・シダキュアとミティキュアを同時に開始することはできません。また1週間後に受診できない場合(大型連休、患者都合等)も開始することができません